

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議

- 議事日程 p 1
- 一般質問（会派代表）項目 p 2 ～ p 7

令和 7 年 3 月 3 日

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議議事日程（第 2 号）

令和 7 年 3 月 3 日（月）午前 10 時開議

日程第 1 一般質問（5 名）

- (1) 5 番 柳 橋 好 子 議員 <市民クラブ>
- (2) 15 番 鍵 本 桂 議員 <自由民主クラブ>
- (3) 18 番 日 向 清 一 議員 <滝政会>
- (4) 10 番 仲 田 孝 行 議員 <日本共産党>
- (5) 12 番 相 原 孝 彦 議員 <公明党>

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議一般質問項目

日程	順序	通告議員名	質 問 事 項
3 月 3 日 (月)	1	(市民クラブ) 柳 橋 好 子	○市長施政方針について ○教育施政方針について
	2	(自由民主クラブ) 鍵 本 桂	○市長施政方針について ○教育施政方針について
	3	(滝政会) 日 向 清 一	○市長施政方針について ○教育施政方針について
	4	(日本共産党) 仲 田 孝 行	○市長施政方針について ○教育施政方針について
	5	(公明党) 相 原 孝 彦	○市長施政方針について ○教育施政方針について

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議一般質問（会派代表）項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
3 月 3 日	1	市民クラブ 柳橋 好子 議員
		○市長施政方針について
	(1)	7 年度は第 2 次滝沢市総合計画前期基本計画の 2 年目となり、市長の任期も折返しとなりました。7 年度の市政運営について、市長の公約や市民の声がどの程度反映されているのか伺います。
	(2)	人口減少社会にあっても、それが本市にとっては大きなチャンスであり「個性や多様性が尊重され、自分が誰かを支えうる存在であるという実感を持ちながら充実した生活を過ごせる環境、つまり「やさしさに包まれた滝沢」を実現できると確信している」とありますが、その確信の根拠を伺います。 また、人口減少は他自治体も同じ条件下にあると思いますが、本市にとって大きなチャンスと言えるのは何故か、それは何をするためのチャンスなのか伺います。
	(3)	重要な 5 つの視点に基づく重点事業について、次の 3 点を伺います。
	ア	妊産婦保健事業について、具体的な方針を伺います。
	イ	重層的支援体制整備事業について、制度の狭間を埋める包括的な支援体制整備とありますが、具体的な方針を伺います。
	ウ	がん検診事業について、がん患者等支援の基本方針と具体策を伺います。
	(4)	経済産業部門の取組について、以下の 2 点を伺います。
	ア	観光及び物産振興について、基本方針を伺います。
	イ	観光について、市が独自に行うのではなく、盛岡広域 8 市町で協力して行うことが現実的だと思いますが、市長の考えを伺います。
		○教育施政方針について
	(1)	確かな学力を育む教育の推進について、具体的な方針を伺います。
	(2)	不登校や不登校傾向のある児童生徒について、具体的な支援や対応策を伺います。
	(3)	健康・安全活動の推進について、中学校の部活動指導員やスクールガード等との職員の連携体制構築の基本方針を伺います。
	2	自由民主クラブ 鍵本 桂 議員
		○市長施政方針について
	(1)	市長任期が残り 1 年 8 か月間となり、第 2 次滝沢市総合計画前期基本計画に基づき、市長公約が反映され、令和 7 年度で政策にどの程度公約を反映させていくのか、以下の点を重点的に伺います。
	ア	豊かな自然を活かす公約を掲げ、総合計画に盛り込み、観光及び物産振興を実行するにあたり、市観光物産協会と、市商工会との具体的な連携策をお示しください。
	イ	まなぶ滝沢市を創り出す公約を掲げ、総合計画に反映させた「大学未来共創事業」について、市内 2 つの大学と 2 つの高校も含めた人材育成をどのように行い連携を図るかお示しください。

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議一般質問（会派代表）項目（通告書全文）

順序		通告議員・質問事項	
3 月 3 日	ウ エ オ (2) (3) (4) (5) ア イ		誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちを創る公約を掲げ、「こどもまんなか滝沢」を総合計画に盛り込み、重点事業である乳幼児保健事業の 5 歳児健康診査における保護者への助言と、保育所などとの連携のための具体的な施策をお示してください。
			力強い中小企業振興対策の取り組みを公約に掲げ、「はたらく滝沢」を総合計画に盛り込み「I C T 産業集積拠点整備事業」における滝沢市 I P U イノベーションパークの拡張に向け、県との用地取得に向けた交渉の進捗状況と整備着手予定をお示してください。
			市長公約のつながる滝沢創りを総合計画へ反映し、「滝沢地域づくり活動推進補助事業」で地域別計画の推進と具現化を図り、地域コミュニティの深化と市民主体の地域づくりを支援する上で、地区集会所の老朽化を考慮し、施設集約の後押しや細分化された自治会を 11 自治会に統合を図る支援も重要と捉えますが、市長の見解をお示してください。
			令和 7 年度当初予算について、市長就任より、国や県に働きかけ国からの防衛予算で岩手駐屯地周辺施設のインフラ整備や学校整備、交通安全対策特別交付金を活用し通学路の整備財源が安定して取得できるようになったことについて、令和 7 年度の特定期間を確保するための取り組みをお示してください。
			滝沢市の地域医療を令和 7 年度にどのように進めていくのかお示してください。また、中心拠点の医療ゾーンに建設予定の医療施設について、どのように充実させていくのかお示してください。
			誰もが幸福を実感できる活力に満ちた地域について、令和 3 2 年には本市人口が 4 4, 0 3 2 人になると推計されていることに対し、他市町村よりも減少率が低いと安堵するのか、また、市長として抗い、人口を増やす施策を実施する考えがあるかお示してください。
			重点事業以外の市域全体計画の部門ごとの主な取組について、以下の 2 点について伺います。
			健康こども部門に放課後児童クラブの環境改善とありますが、市が考える適正な運営改善とは、児童定員のことか、あるいは建物修繕のことなのか伺います。
			子育て環境について、中心拠点に建設予定の保育所などは病児保育の実施や障がい児を専門的に受け入れ可能な施設とすることで、子育て世代に安心感を与え、既存の教育・保育施設で働く保育士の負担軽減にもなると考えますが、見解をお示してください。
		○教育施政方針について	
		誰一人取り残さない学びの保障について、不登校傾向にある児童生徒への支援の充実を、令和 7 年度にどのように進めていくのか、具体的な取組を伺います。	
	3	滝政会 日向 清一 議員	
		○市長施政方針について	
		令和 6 年度からスタートした第 2 次滝沢市総合計画前期基本計画が 2 年目となる 7 年度は、市長の公約、市民や各種団体などとの懇談会「市長と話そう」の声がどのように反映され、「やさしさに包まれた滝沢」の実現にむけた方針であるか、重点事業について伺います。	
		(1)	つながる滝沢について
		ア	市民主体の地域づくり活動に対する支援の推進方針を伺います。
		イ	中心拠点商業地区開発事業の今後の方針を伺います。

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議一般質問（会派代表）項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
3 月 3 日	ウ	社会参加活動に取り組む若者の主体的な活動に対しての推進方針を伺います。
	(2)	こどもまんなか滝沢について
	5 歳児健康診査の実施による乳幼児の子育て支援の推進方針を伺います。	
	(3)	まなぶ滝沢について
	リカレント教育推進事業を推進するための、関係機関との連携の推進方針を伺います。	
	(4)	はたらく滝沢について
	ア	I C T 産業集積拠点の推進方針を伺います。
	イ	新規就農者への総合的な農業経営の支援方針を伺います。
	ウ	農業担い手の育成・確保の推進方針を伺います。
	(5)	経済産業部門の様々な産業の活性化が繋がり広がるまちの取り組みについて
	ア	活動しやすい環境をつくり、分野を超える大きな産業の活性化をどのように推進するか方針を伺います。
	イ	持続可能な農業を進める地域計画の実践に向けた、更なる支援の考えを伺います。
	ウ	物価高騰や気候変動等による外的要因への支援策の推進方針を伺います。
	○教育施政方針について	
	(1)	伝統文化や芸術の継承に向けて児童生徒が学ぶことができる環境づくりの方針を伺います。
	(2)	学校給食における安全安心な地元産食材の活用方針を伺います。
	4 日本共産党 仲田 孝行 議員	
	○市長施政方針について	
	(1)	災害に強い地域づくりの強化では、滝沢消防署新庁舎建設に向け取り組むとありますが、どのような予算規模なのか、また、メリット、デメリット等があれば伺います。
	(2)	安心して市民が生活できる、特に児童生徒の安全を確保するためには、スクールガードや保護者、地域等の協力を得るのは当然ですが、メインの通りや通学路などに防犯カメラの設置も重要と考えますが、市長の考えを伺います。
	(3)	中心拠点商業地区開発事業は、民間開発事業者と連携しながら整備を推進するとしていますが、どのような連携を考えているのか伺います。
	(4)	健康こども部門での市民の健康づくりについて、運動習慣を身につけるためのきっかけづくりを進め、地域医療体制を適正に維持するため、医療機関との連携を図るとしていますが、どのようにして運動習慣を身につけさせるのか、また、地域医療体制を適正に維持するために具体的にどのように取り組むのか、市の考えを伺います。

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議一般質問（会派代表）項目（通告書全文）

順序	通告議員・質問事項	
3 月 3 日	(5)	子ども医療費給付事業について、子ども全員を対象とした医療費給付を継続しながら、更なる拡充を目指すと思いますが、どのような支援の拡充で高校生等までの子育て支援の充実を図っていくのか伺います。
	(6)	地域福祉活動の担い手育成について、民生委員・児童委員の間ではさまざまな部分で対応に差が生じており、地域で共に支えあい、助け合うことができるようにするには、個別的な指導や援助が必要と考えますが、市の考えを伺います。
	(7)	新規就農者への総合的な農業経営の支援方針を伺います。また、農業担い手の育成・確保の推進方針を伺います。
	(8)	農林業振興について、林業振興として木材利用を促進するとありますが、住宅での建材利用を増やすのか、暖房で再生エネルギーとして使うのか明確ではありません。木材利用の具体策を伺います。また、市有林を伐採し製材後に中学校の技術教科の時間を利用してベンチ等を作り、市内の公的施設や公園に設置するというような事業の考えはないのか伺います。
	(9)	安全安心な学校給食の提供について、現在、岩手県内では 11 自治体が給食費の無償化を実現しています。7 年度予算から見ると、約 2 億 7,000 万円で保護者の負担が無くなり無償化が実現できます。こどもまんなかであるなら無償化に進むべきと考えますが、市の考えを伺います。
	○教育施政方針について	
	望ましい食習慣を育む学校給食の充実について、現在、岩手県に対する学校給食費無償化の署名運動が取り組まれています。また、本市でも、市に対して学校給食費無償化を求める同様の署名活動が取り組まれています。宮古市や陸前高田市など 11 市町村が無償化を実現しており、本市も早急に無償化を実現すべきと考えます。今や全国で 722 自治体（令和 5 年 9 月時点）が無償化を実施済みです。本市も早急に無償化に取り組むべきと考えますが、教育長の考えを伺います。	
3 月 3 日	5 公明党 相原 孝彦 議員	
	○市長施政方針について	
	(1)	「つながる滝沢」について
	ア	過去に行った「若者活躍の場づくり推進事業」の成果をどのように評価し、見えてきた問題点をどう反映させた方針となるのか伺います。
	イ	社会参加活動に取り組む若者の主体的な活動に対する推進策を伺います。
	(2)	「こどもまんなか滝沢」について
	重点事業の乳幼児保健事業の 5 歳児健康診査における保護者や保育所との連携など、具体策を伺います。	
	(3)	「こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち」について
	子育て環境において、子育て世帯の経済的負担軽減や居場所づくりとして、盛岡市や八幡平市のような児童館の設置を検討するべきと考えますが、市長の考えを伺います。	
	(4)	「誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち」について
	ア	物価高騰などによる生活困窮者に対する支援を見直して行くべきと考えますが、市長の考えを伺います。
	イ	地域における高齢者に対する支援の具体的な推進策を伺います。

令和 7 年滝沢市議会定例会 3 月会議一般質問（会派代表）項目（通告書全文）

順序		通告議員・質問事項	
3 月 3 日		(5)	「ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち」について
		ア	7 年度の空き家対策での新たな対応策を伺います。
		イ	公園は誰もが楽しく遊べる場所ですが、市における公園利用の基本方針を伺います。
		ウ	MLB の大谷選手の影響を受けた野球人気やサッカー人気により、子ども達がボールを使った遊びをしたいとの声が多くなっています。公園の改修では、小さな公園を集約して大規模な公園を作り、子ども達の期待に応えるべきと考えますが、市の考えを伺います。
		(6)	「新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門」について
			職員の確保・育成は重要です。特に、技術系の職員の確保は以前から問題となっています。技術系職員の確保に対する市長の考えを伺います。
			○教育施政方針について
		(1)	「生きる力」を育む学校教育の充実について
			小中学校で児童生徒がタブレットを効果的に活用した授業を行っています。しかし、このタブレットも数年後には更新しなければなりません。市内全部の小中学校で更新するとなると、まとまった予算が必要となりますが、その時に向けた教育長の考えを伺います。
		(2)	「確かな学力を育む教育の推進」について
			教科担任制推進における方針について、教育長の考えを伺います。